研究テーマ	固定点観測映像に対するイベント検出システム
（所属）研究者名	（山梨大学工学部コンピュータ理工学科）豊浦 正広，茅 暁陽 （大阪工業大学）西口 敏司　（京都外国語大学）村上 正行

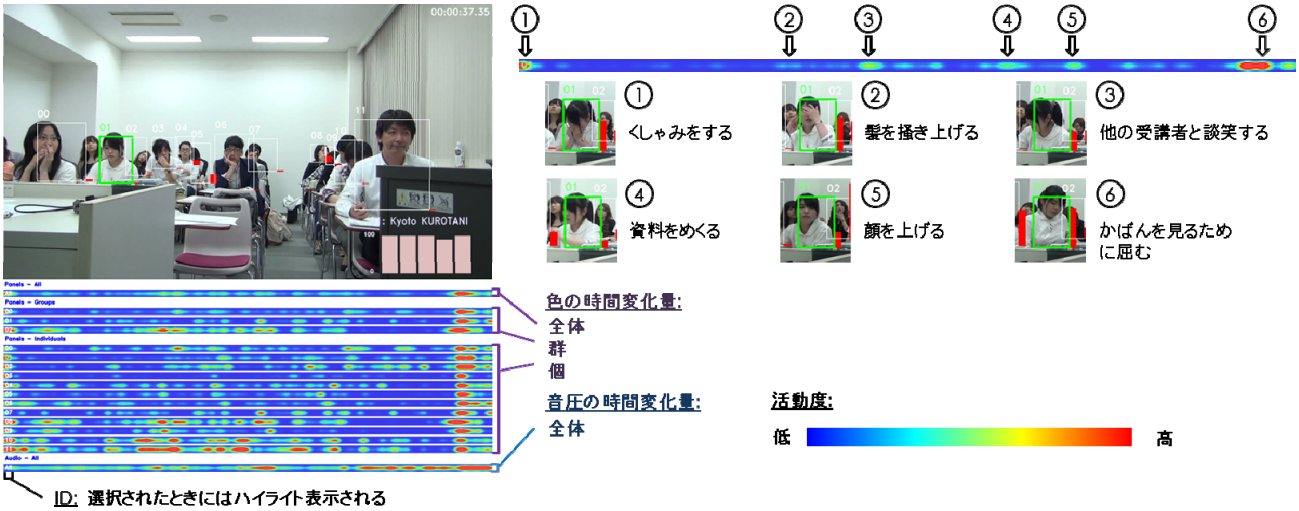
【背景・目的】

カメラは世界中の至る所に設置され，人間が処理しきれない量の映像が蓄積されてきている．一方で，画像処理による自動認識の精度には限界があり，映像中に起こるイベントを目視で観察することにより，画像処理技術で得られるよりも多くの情報を得られることは少なくない．

本研究では，固定点映像の目視観察を効率的に行えるようにするシステム ActVis を提案する．

【得られた成果】

固定点観測映像に対して，複数の注目領域（パネル）を利用者が自由に設定し，各領域内部での色の変化量を算出することで，それぞれの領域内での活動度を求める．図１に示すようにシークバー上に活動度を表示することで，映像全体での各領域での活動度遷移を提示でき，映像内で起こったイベントの確認作業を効率化する．また，複数のパネルの活動度を１つのシークバーに合わせて表示することで，個々の対象だけでなく，群や全体の活動度も表示できる．



受講者映像に対するイベント検出システム ActVis による映像解析例

【当該成果が応用できると想定できる産業・製品・技術等】

応用先として，講義映像解析，および，動物観測映像からの挙動確認について，実用できる見込みを得ている．また，監視カメラ映像における異常確認でも，これまでには近方でしか確認できなかった人の流れを遠方から観測することが可能となる．他にも，血液検査や顕微鏡画像解析，製造ライン監視，交通量調査などでも応用の可能性がある．

【問い合わせ先】

所　属	山梨大学工学部コンピュータ理工学科	
代表者	豊浦 正広	E-mail: mtoyoura@yamanashi.ac.jp